



▲ SAI 本社・外観

NAKAJIMA's VOICE

中島：原案デザインからの特徴でもある髪形については重力に逆らった形をしています。やわらかい質感を出せるように心がけています。体に関してはやはり成長期のバスト、でしょうか。少女の少しふくらみかけた胸がポイントなんですが、さじ加減が難しいですね（笑）。描き始めた当初は無表情キャラだったのですが、進んでいくうちに監督からドヤ眉キャラにしたいという要望がありまして、その魂が入ったなあ、と感じました。



HAYASHI's VOICE

林：アイラはいろいろ矛盾を抱えた子です。なにを考えているのかよくわからないように見えて、気持ちをはっきり表情に出たり。心を開こうと健気な姿を見せてくれるかと思いきや、急に拒絶してきたり。その心情をトレースするのが僕自身とても難しいのですが、だからこそそそく愛着のあるキャラクターになりました。

ISLA アイラ ギフティア

はかなげな雰囲気を持つギフティアの少女。職場ではお茶くみ担当だが、ツカサの配属を機に彼と組むことになる。

職場を舞台とするからその個性豊かな登場人物たちに注目
感情を有する高性能なアンドロイド「ギフティア」が実用化された未来の世界。就職活動がうまくいかなかった水柿ツカサは、親のツテでギフティアの開発・製造を手がける大企業SAI社に就職するが、配属されたのは「ターミナルサービス」という窓際部署だった。彼はそこでギフティアの少女・アイラと出会い、彼女とともに9年間という長い長くない寿命を迎えようとするギフティアを回収する業務に携わることになるが……。
MAGES.の科学アドベンチャーシリーズで知られる林直孝氏が原作・脚本を手掛ける本作は、人間の少年とアンドロイドの少女によるラブコメディ。また、前述したように、お仕事モノ、という側面もあるのが見どころの1つ。職場、ひいては社会が舞台となれば、主人公を取り巻く人々の年齢やモノの考え方は学生時代以上にさまざまとなる。そんな環境でツカサはどのように仕事と向き合い、成長していくのだろうか？ 『GJ部』、『未確認で進行形』を手掛けた藤原佳幸監督と動画工房による、ひとくせもふたくせもあるキャラクターたちにも注目だ。

＜脚本・林直孝氏 & キャラクターデザイン・中島千明氏のコメントでキャラクターを解説！＞

ターミナルサービスへようこそ!!

主人公・ツカサが勤める「ターミナルサービス」。そこで彼の同僚や上司となる面々を脚本の林氏と、キャラクターデザインの中島氏のコメントつきで紹介していこう。

NAKAJIMA's VOICE

中島：監督との話し合いを重ねたうえで、軽薄なキャラに見えず笑顔が似合うキャラになるように心がけています。髪の毛のバランスでシルエットの印象が変わってしまうのが難しい部分です。コミカルでもシリアスでも対応できるようなデザインになるようにしています。



HAYASHI's VOICE

林：ツカサは新入社員ということもありちょっと頼りない男です。とはいえ、ガキっぽくならないように注意しました。まだまだ青い考え方をすることも多いですが、社会人としての常識や責任感もしっかり持ち合わせています。そんなツカサが、アイラと組むことでどう成長していくのが、この作品の本筋となります。

TSUKASA MIZUGAKI 水柿 ツカサ

高校卒業後、SAI社に就職した少年。配属されたターミナルサービスという部署でギフティアのアイラと出会う。





▲ SAI 本社・ロビー



HAYASHI'S VOICE

林：ミチルはかなりわかりやすい性格をしていて、個人的には一番動かしやすい子です。ツカサにとっては先輩でもあり同年代のライバルでもあり気が置けない友人でもあります。ミチル自身はツカサのことをなかなか一人前だと認めようとはしなくて、一方でアイラのことは必要以上に心配する素振りを見せます。

MICHIRU KINUSHIMA
絹島 ミチル

ターミナルサービスでツカサの先輩となる、負けん気の強い少女。不本意ながら新入社員であるツカサの指導役をすることに。



NAKAJIMA'S VOICE

中島：広がった髪を動きの中でどうまとめるかが難しいところです。ツリ目でくりっとした瞳がチャームポイントです。アイラの表情が乏しいので、その分表情豊かなミチルが物語を引っ張っていってくれています。

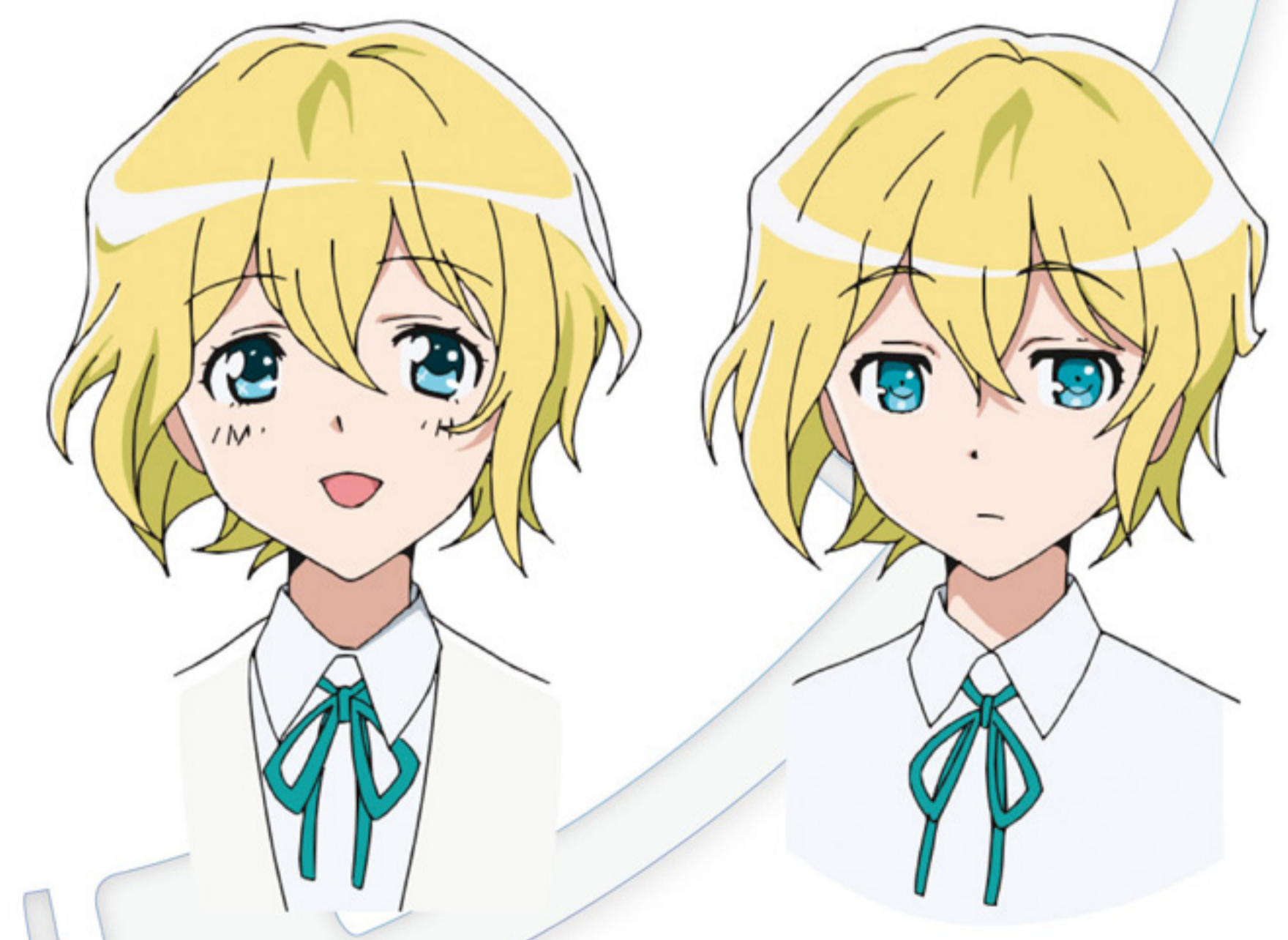


HAYASHI'S VOICE

林：ザックはある意味で、ギフティアという存在を一番わかりやすく表現しているキャラクターです。ふだんは、他人をからかったり毒舌を吐いたりする生意気な少年ですが、いざ仕事になると天使のような笑顔を浮かべる優等生に豹変します。ギフティアはアンドロイドでありながら嘘をつくことのできる存在なのです。

NAKAJIMA'S VOICE

中島：監督の要望により、アシンメトリな髪型になっているのがポイントです。髪の毛の流れのコントロールがとても難しく気を付けています。外面は天使で中身は小悪魔なキャラクターですので、コロコロ変わる表情変化に注目していただければと思います。



ザック ZACK

業務でミチルのパートナーを務めるギフティアの少年。TPOに応じて態度をコロコロと変える、柔軟な性格の持ち主。



KADUKI KUWANOMI
桑乃実 カヅキ

男勝りな口調と性格が印象的な、ツカサ直属の上司となる女性。面倒見がよいが、怒らせると怖いタイプかも!?

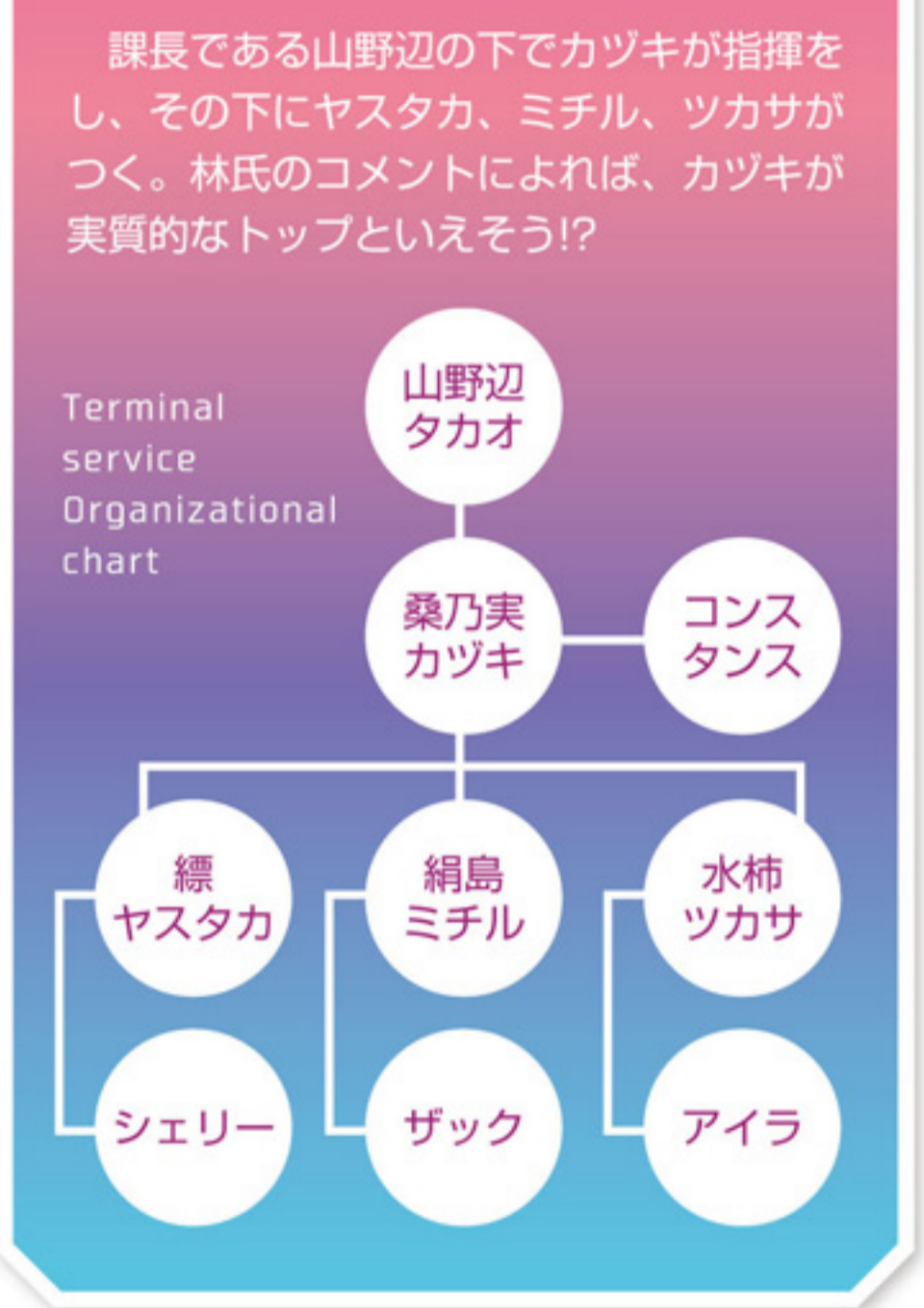
HAYASHI'S VOICE

林：現場の指揮官的な立場です。ターミナルサービスでは課長の山野辺の方が偉いはずなのですが、現場を仕切っているのはカヅキで、山野辺も逆らえません。かなり血気盛んでたまにすごく怖くなります。

NAKAJIMA'S VOICE

中島：カヅキは姉御肌の快活なキャラになるよう心がけています。ポイントである髪型に関しては原案デザインの攻めの髪型をどうにか生かしたいと思い、この形に落ち着きました。

ターミナルサービス 組織図

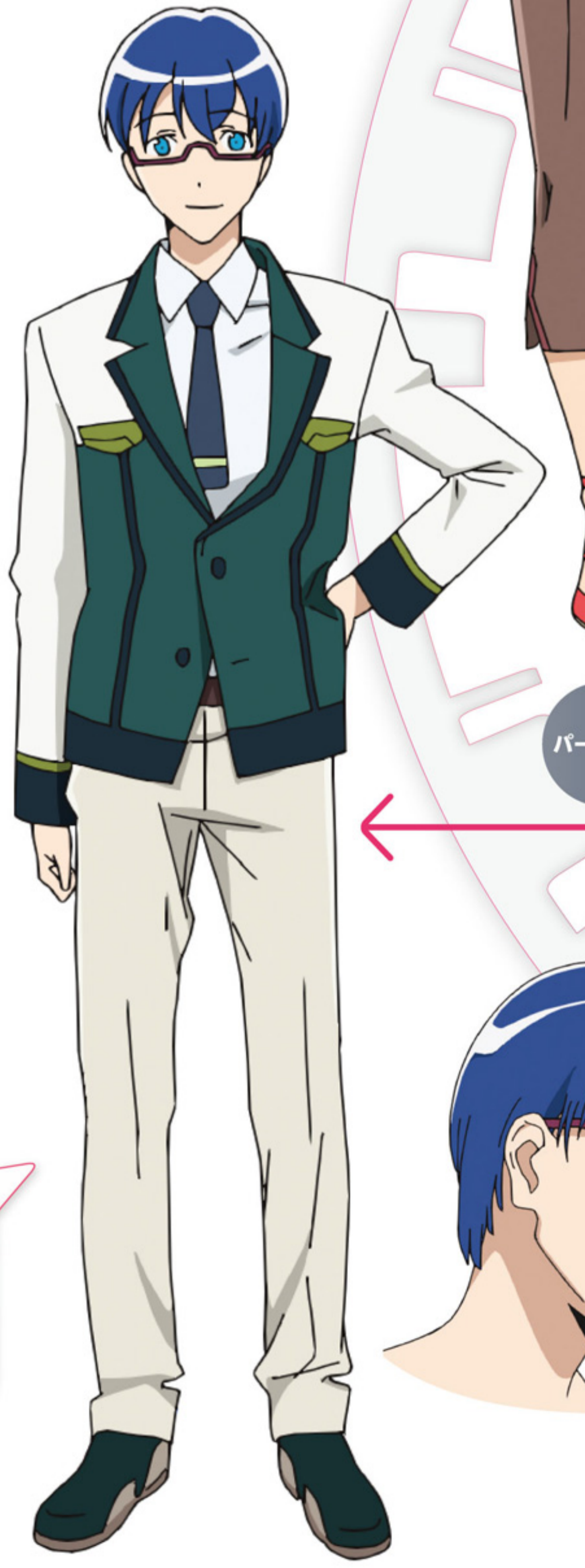


HAYASHI'S VOICE

林：真面目でさわやか。見た目どおりの好青年です。カヅキが無茶しようとすると、笑顔で諭して場を丸く収めてくれます。ターミナルサービスで一番優秀なのはこの人で間違いないと思います。ちなみにメガネは伊達です。

NAKAJIMA'S VOICE

中島：表情に関してはさわやかでやわらかい雰囲気が出るように意識しました。カヅキとパートナーなので、それと相対的にバランスが取れるように気をつけています。

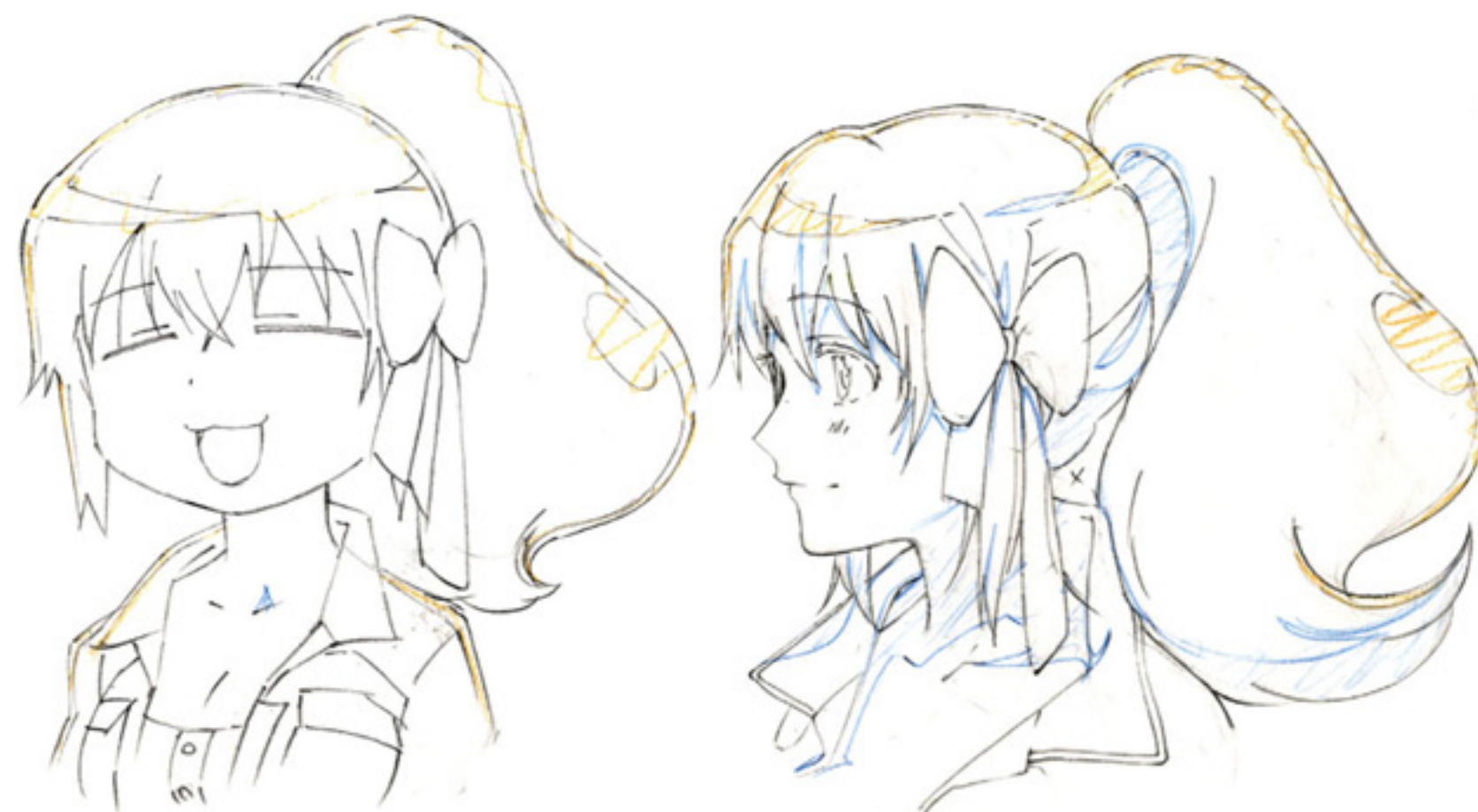


CONSTANCE ギフティア
コンスタン

カヅキのパートナーを務める青年型のギフティア。誠実な態度と立ち回り、カヅキの業務を的確にサポートする。



▲ SAI社・社員寮外観



HAYASHI's VOICE

林：ギフティアをメンテナンスするエンジニアです。お色気担当のように見えますが違います。全キャラクターの中で一番言動がぶっ飛んでいる子でして、コメディリリーフとしてはかなり重要しています。

NAKAJIMA's VOICE

中島：最初は前髪バツンヘアで出してみたのですが不評で、監督と私のカワイイ！の差を感じました。全キャラの中で一番の巨乳です。

本誌独占
初公開!

ERU MIRU

海松 エル

ギフティアのメンテを担当するターミナルサービス専属のエンジニア。ノリが軽く、同年代には友人のように接する。

MESSAGE FROM COMMENTATOR

原作・脚本
林直孝

この作品は、職場を舞台にしていますが、キャラクター同士の掛け合いのノリはむしろ部活に近いです。みんなそれぞれに仲がよくて、でも緊張感もある、そんな人間関係です。見てくれた人が、自分もここで働きたいと思えるような雰囲気を目指しています。楽しみにしてください。

キャラクターデザイン
中島千明

初めてのオリジナル作品なので答えがなく、何事も大変ですが自分が描いたものが色を塗られ撮影されていくことにより、どんどんと想像を超えたものになっていくのが楽しいです。監督の藤原さんの想い・伝えたいことを紙の上で表現できるように毎日がんばっていますので多くの人に見ていただきたいです。言葉にするとうまくいえませんが、でき上がった映像から伝えられたらと思っています！

KEYWORD

◆ SAI社

かつて高性能アンドロイド・ギフティアの開発に成功し、今ではその製造と販売、そして回収までも一手に手がける大企業。このような企業に顔が利くあたり、ツカサの親もかなりのやり手？

◆ ギフティア

SAI社が開発した、人間とウリふたつの外見と感情を有する高性能アンドロイド。耐用年数が約9年と決まっており、それがターミナルサービスという回収業務を請け負う部署の誕生にもつながっている。

◆ ターミナルサービス

就職したツカサが配属されたSAI社の窓際部署で、その業務は「寿命を迎えようとしているギフティアを購入者から円滑に回収してくる」こと。ツカサはここから社会人としての第一歩を踏み出すことになる。

HAYASHI's VOICE

林：クールなお姉さんですがヤスタカに振り回される苦勞人でもあります。実は驚異的な戦闘能力の持ち主……みたいな裏設定もあったりしますが、その設定が物語中で発揮されることはないでしょう。

NAKAJIMA's VOICE

中島：基本的に原案デザインのバランス、雰囲気壊さないようデザインしました。監督のアイデアで目尻にアイシャドウを入れようということになりまして、クールビューティーさがさらにプラスされました。

SHELLY

シェリー

ギフティア

ヤスタカのパートナーを務めるギフティア。見た目の印象どおりの真面目な性格で、正対しに不真面目なヤスタカの対応に手を焼いている。

HAYASHI's VOICE

林：モチーフはチョイワイルテリア人です。カツキよりベテランなのにいつも仕事もせずどこかぼっつき歩いてます。やる時はやるオーラを出しつつ結局なにもしない、みたいなポジション……かも。

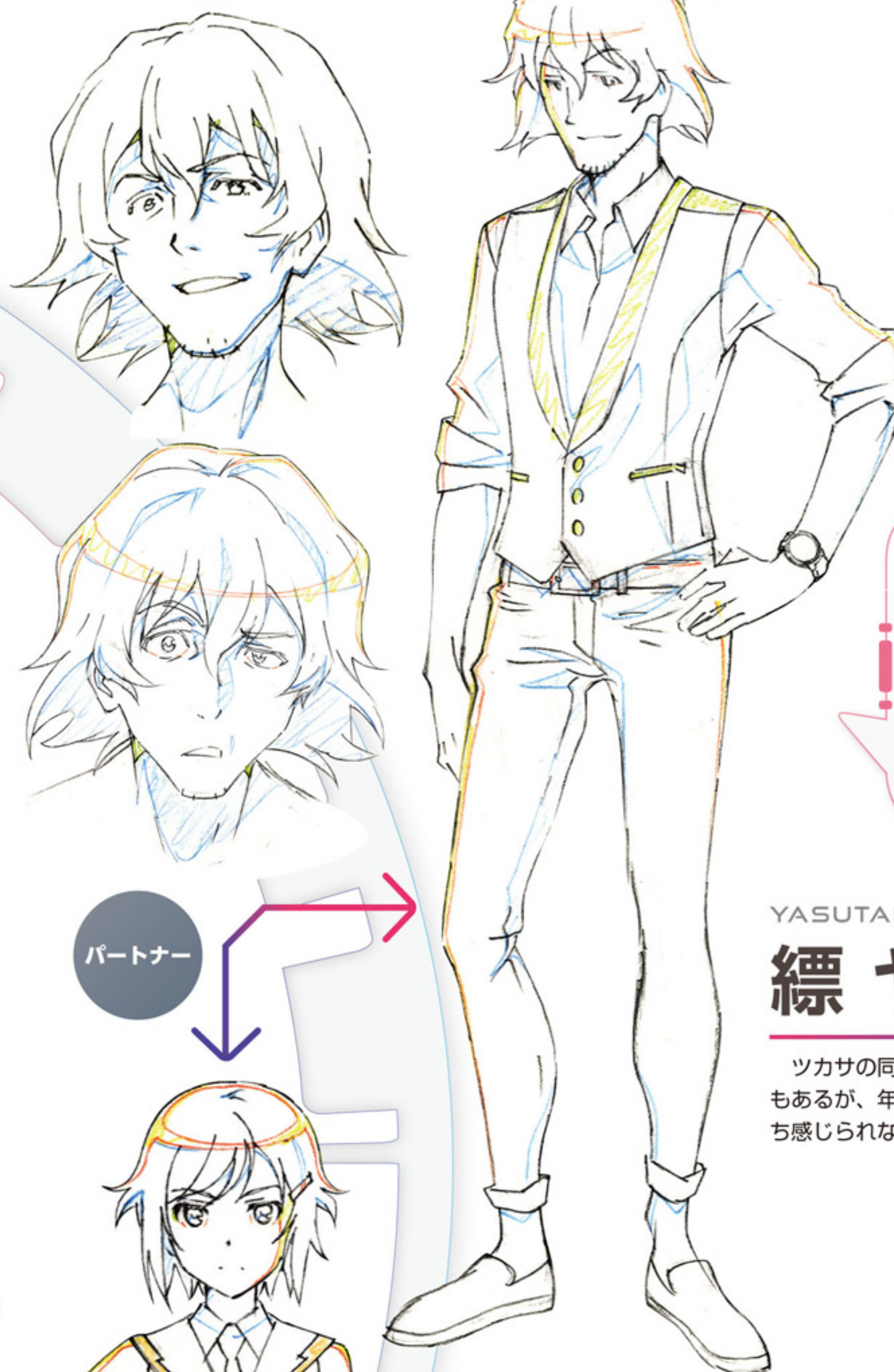
NAKAJIMA's VOICE

中島：ヤスタカに関しては、性格の軽薄さが出るように意識しました。しかしやる時はやるというカッコイイキャラでもありますので、ギャップを楽しんでいただけるように描けたらいいなと思っています。

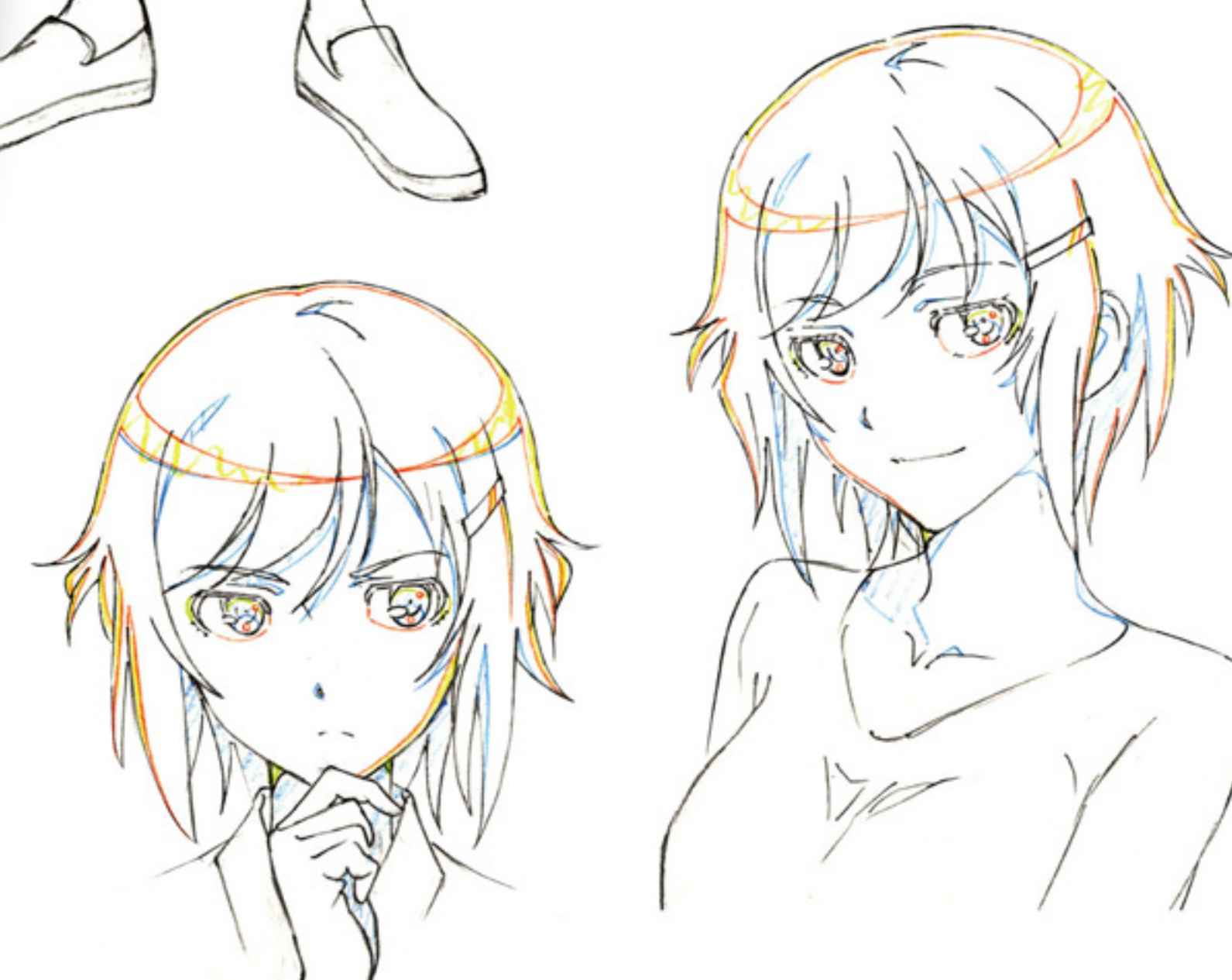
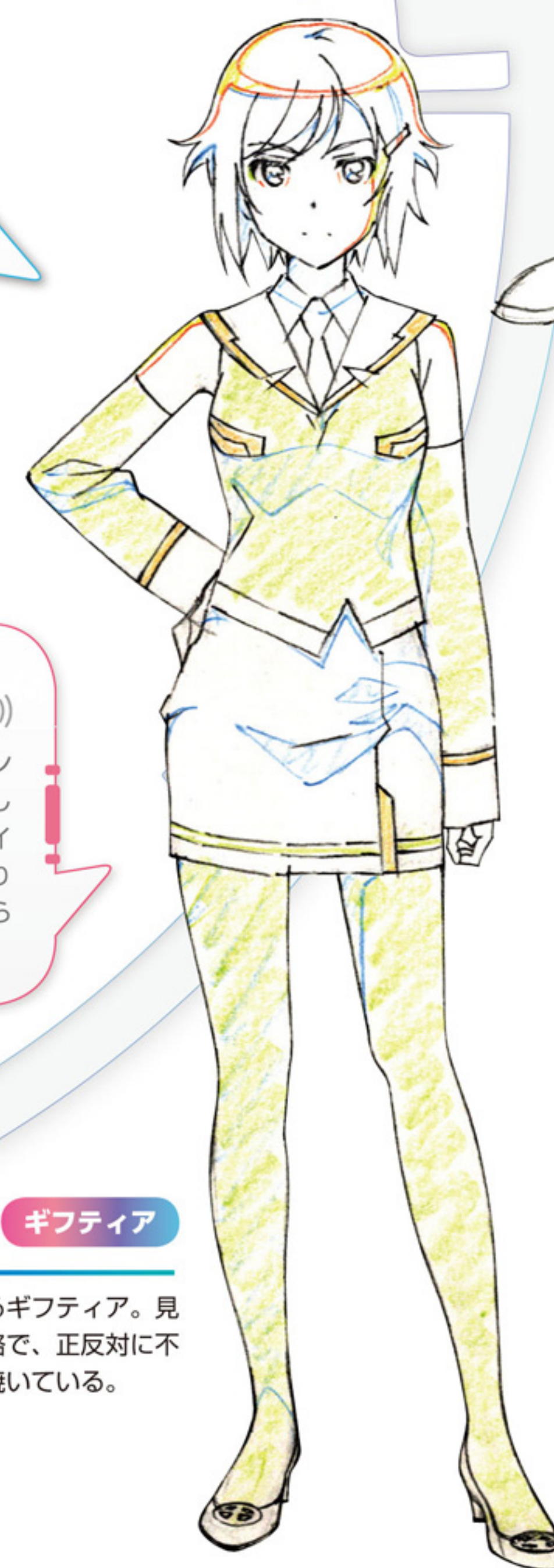
YASUTAKA HANADA

縹 ヤスタカ

ツカサの同僚。勤務10年以上の先輩でもあるが、年数に見合った姿勢がいまいち感じられない、ちゃんぽんな性格。



パートナー



▶ SAI社・ターミナルサービス外観



HAYASHI's VOICE

林：中間管理職の悲哀を体現する人です。部下の押しの強さにタジタジになり、本社からは経費削減するとネチネチ文句を言われています。実はクライマックスにすごい見せ場を用意したのですが展開の都合上ボツにしました。

NAKAJIMA's VOICE

中島：この作品では基本的に顔はシンプルに、という方向で進めているので、顔のシワや影は最小限に抑えて今の形に落ち着きました。おじさんをデザインするのがほぼ初めてだったので駅のホームなどでおじさんをよく観察していました。

本誌独占
初公開!

TAKAO YAMANOBE

山野辺 タカオ

ターミナルサービスの課長。穏やかな人柄だが、それゆえにカツキに強く出られると押しきられてしまうことも。

